

〈 彙 報 〉

平成十一年度 国文学科活動報告

芸能鑑賞—歌舞伎鑑賞教室

日時 平成十一年六月九日(水)
場所 大阪厚生年金会館大ホール
演目 ①解説 歌舞伎のみかた
②歌舞伎十八番の内 勸進帳 一幕
対象 国文学科一・二年生全員

映画や演劇にくらべて、歌舞伎を観た、あるいは度々観に行くと言う学生は少ない。そこで、今年度は歌舞伎鑑賞教室の公演「義経千本桜」を鑑賞した。文化庁後援のこの催しは、事前に解説書を取り寄せて学習を深められること、出演当日は上演前に「歌舞伎のみかた」を丁寧に興味深く解説していただける点などがあった。今回は、片岡我雪の「いがみの権太」がよかった。歌舞伎を観るのは初めてと答えた学生の心をも、しっかりとひきつける貴重なひとときであった。

講演会

日時 平成十一年七月一日(木) 一時二十分～三時
会場 学生厚生施設棟
講師 大阪府立大学助教授 田中 宗博先生
演題 「中世仏教説話における女性像をめぐって」
日時 平成十一年十二月七日(火) 一時二十分～三時
会場 学生厚生施設棟
講師 三重県立久居高等学校教諭 松田 珠美先生
演題 「手話—伝えあうことの喜びをもとめて—」

日ごろの授業ではあまり聞くことのできない分野について専門の先生をおまねきしてお教えを願う。今年度はやわらかい口調で語られた田中先生に仏教説話、とくに発心集に描かれる女性像をめぐってお話をうかがった。ジェンダーの問題にまで及び、本当に興味は尽きなかった。
又、松田先生には言語としての手話について熱っぽく話していただいた。それまで関心のうすかった学生も啓発して下さった。

文学遺蹟めぐり―奈良方面―

日時 平成十一年十月十九日(火)

行程 近鉄奈良駅地上噴水広場―奈良市写真美術館―志賀直哉旧居―若草山(昼食)―三月堂―二月堂―奈良国立博物館―近鉄奈良駅解散
対象 国文学科一・二年生

今年度の文学遺蹟めぐりは、奈良市写真美術館に、入江泰吉の写真展「懐古奈良・大和路」を、高畑の志賀直哉旧居に、「奈良と近代文学」の足跡を、そして、三月堂、二月堂に、「奈良の伝統」を、奈良国立博物館に、「奈良の至宝」を訪ねる、盛り沢山な探索であった。

写真家入江泰吉が、何故に「奈良」に固執し続けたのか、作家志賀直哉が、何故に十五年間も「奈良」に住み続けたのか、何故に「奈良」は人々を魅惑するのか。学生たちと、高畑・飛火野・春日大社と、奈良の「街」を実際に散策することによって、上代人が、その風土を「まほろば」と称えた「奈良」の意義を、彼女たちも肌で感じ取ってくれたことと思われる。三月堂での説明も、熱心に拝聴し、コースも程よい距離であった。

平成十一年度国文学科ゼミ活動報告

△北谷ゼミ▽

日程 十月 十日(日)

萬葉ウオーク

十二月十二日(日)

京都方面

△鳥井ゼミ▽

日程 十一月二十一日(日)

谷崎潤一郎記念館・倚松庵

△鈴木ゼミ▽

日程 五月十六日(日)

奈良市立写真美術館・三月堂・二月堂・奈良

六月 五日(土)

唐招提寺

十月二十九日(金)

不退寺・法華寺・秋篠寺

十一月二十日(土)

興福寺・元興寺

今年度、本学において次の学会が開催された。

◆日本近世文学会秋季大会◆

日時 十一月十三日(土)・十四日(日)

場所 相愛女子短期大学南港講堂

研究発表会(第一日)

①草紙屋城殿の周辺

慶応義塾大学 石川透

②古活字版「阿弥陀胸割」考

国文学研究資料館 和田恭平

③平賀源内の著作をめぐる諸問題

大阪商業大学 石上敏

④『椿説弓張月』の七五調

大阪学院大学 野口隆

⑤『統膝栗毛』と板元たち

早稲田大学(院) 二又淳

①『役者小夜衣』の役者と配役

日本学術振興会特別研究員 井上和人

②実録「播磨国書写敵討」の成立

神戸市立工業高等専門学校 土居文人

③秋成における「ひとつ心」―その背景と意義―

明治大学 内村和至

④天明狂歌の一面

神戸親和女子大学 小林勇

①昌琢宗匠連歌会の構成とその展開 ―宗因の位置をめぐる―
大阪大学(院) 尾崎千佳

②『おくのほそ道』蛤本の謎
奈良大学 永井一彰

③『江戸繁昌記』と天命論

兵庫大学短期大学部(非) 新稲法子

④上方咄の会本と増舎大梁 日本大学(非) 宮尾興男

なお、両日とも、教育研究棟一階貴重資料室(R-103)・図書館一階自習室において、本学にゆかりのある方々のご協力を得て、「春曙文庫」ならびに「茶梅庵文庫」コレクションを中心とした資料展覧が行われた。

◆阪神近代文学会冬季大会(第十八回)◆

日時 平成十一年十二月十八日(土) 午後二時

会場 学生厚生施設棟三階「小ホール」

研究発表

I 太宰治「おさん」論―その女性像を中心として―
佛教大学大学院 青木京子

II 夏目漱石「野分」論 高柳周作に着目して―
関西学院大学院研究員 宮園美佳

III 韓国における漱石研究の現状

「こころ」研究―静の実相― 全南科学大学 金正勲